

平成28年8月発行

静岡に来て、初めて7月盆というものがあることを知りました。地域によっていろいろと変わるんですね。そして、このお盆の時期に、『お施餓鬼（せがき）』という法要があります。似てはいますが、実は違う。今回はお盆とお施餓鬼のことをお伝えします！！

～お盆とお施餓鬼の由来はこんなに違うんです！～

【お盆】：<sup>もくれんそんじゃ</sup>目連尊者が餓鬼道に墮ちた母を救おうとしたことがはじまり。目連尊者の母のように、亡くなったあとも苦しみの中にいる人々を救うための行事。もともと日本にあった先祖供養と合わさった。



【お施餓鬼】：<sup>あなんそんじゃ</sup>阿難尊者が鬼に「3日以内に死に、餓鬼道に墮ちる！」と告げられ、そこから逃れようとしたことがはじまり。欲深く、欲求不満になっている餓鬼を自分自身の中にみつけ、その餓鬼を救うための法要。



お盆とお施餓鬼ではこんな風に由来が違うんですね～。でも、どちらの行事もご先祖様も自分も含めたすべての人・ものの供養を精一杯する、人のためにできることを一生懸命やっていく、ということが大事だと教えてくれています。

～夏休み 大人とこどもの坐禅会『子供坐禅会』 絶賛、開催中～



子供たちの長期休暇に合わせて行っています、大人とこどもの坐禅会『子供坐禅会』。7月28日から毎日開催しています。（\*行事のため、8月7日と19日はお休みです。）

座る時間も1回15分程度ですので、初めての方にも体験しやすいかと思います。お子さん、お孫さんと一緒に坐禅を体験してみたいかがでしょうか(\*^-^\*)

\*足が組めなくても座りやすい姿勢でご参加いただけます。

\*この『まめこ通信』は普段あまりお寺とかかわりが少ない方にもお寺のことを知ってほしいという想いで始めました。ご家族皆さまで読んでいただけると嬉しいです😊

